

第２期渡嘉敷村人口ビジョン・総合戦略 (概要版)

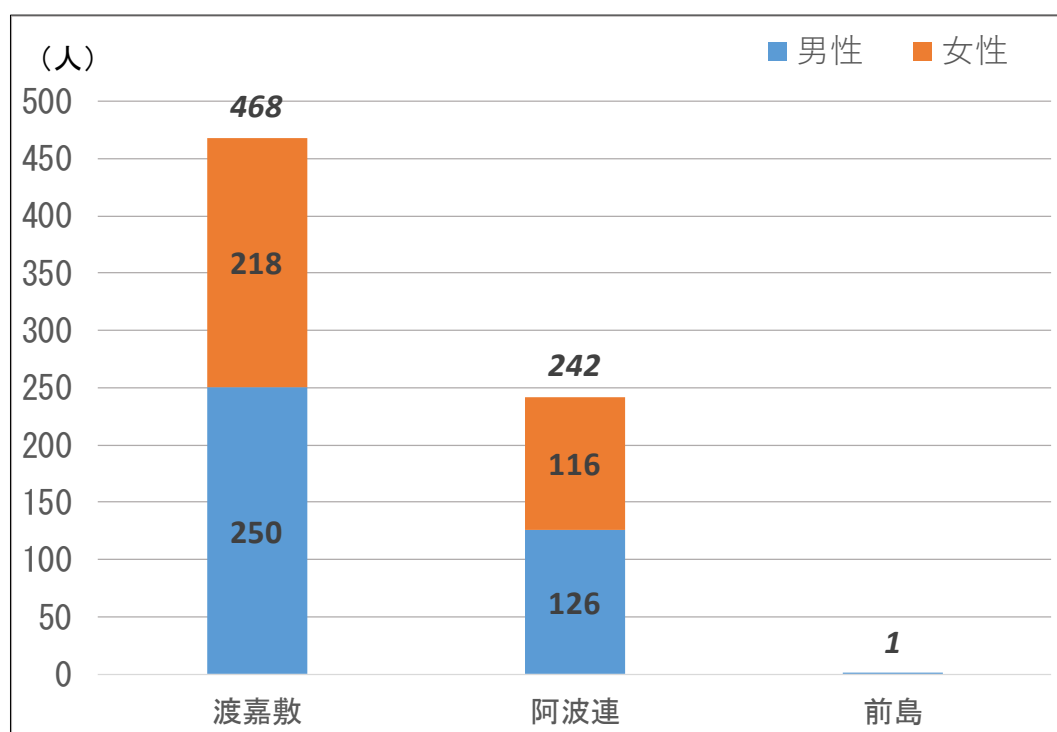
渡嘉敷村では、これからの人口減少社会に向けて村人口の分析・推計を行うとともに、その結果に基づき今後進めるべき施策をまとめた「第２期渡嘉敷村人口ビジョン」及び「第２期渡嘉敷村総合戦略」を策定いたしましたので、その概要についてお知らせします。

ここに掲げる施策は、村内の住民や団体の皆様との共通認識・共通理解のもと、協働の観点から村を挙げて一体的に取り組んでいかなければならないものです。今の子どもたちのために、そして、将来の渡嘉敷村のために、取り組みに対するご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

渡嘉敷村の人口の現況

渡嘉敷村の住民基本台帳(2020年1月1日現在)による人口は、711人となっています。男女別にみると、男性が377人、女性が334人であり、男性が多くなっています。

本村には3つの字があり、字別で分けると、渡嘉敷が最も多く468人となっており、村内の全人口の65.8%を占めています。次いで、阿波連の242人、前島1人となっています。



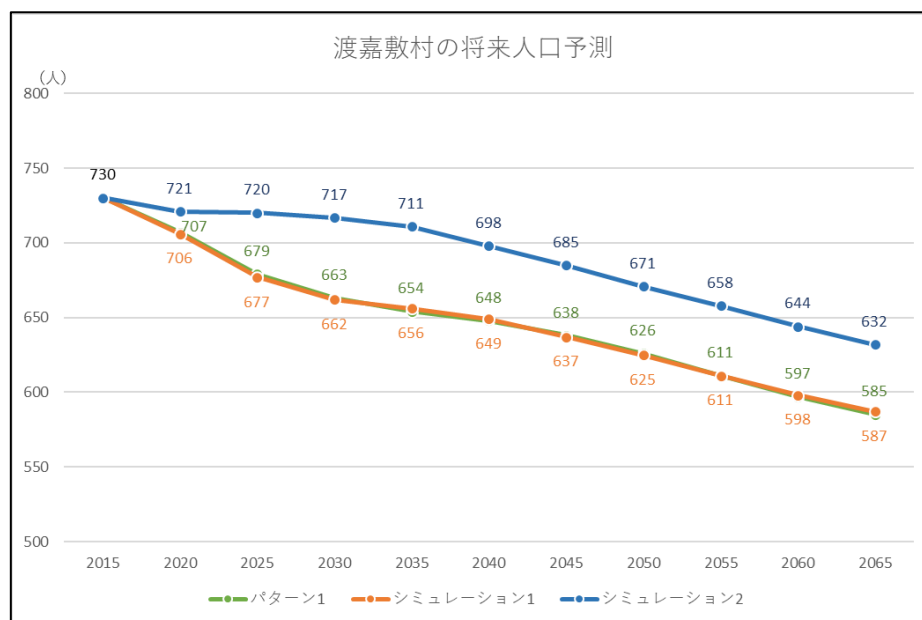
図：住民基本台帳による字別人口(2020年1月1日現在)

現在の渡嘉敷村の人口は減少傾向にあります。推計人口（社会保障・人口問題研究所による推計）を見ても今後も減少傾向が続くと予想されます。

2020年の国勢調査人口の速報値では717人となりました。子供たちが進学等により一度島を離れる状況は今後も続くものと思われます。しかし、20代の若者の転入が多く見られ、これは観光産業による効果と考えます。

そのような中で、本村では観光産業の振興による若者の吸引力を高めるとともに、住環境を改善して現在の人口規模を維持することを目標とします。

現在の人口を維持し、2060年に人口720人で安定する渡嘉敷村を目指します。



	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	2065
パターン1	730	707	679	663	654	648	638	626	611	597	585
シミュレーション1	730	706	677	662	656	649	637	625	611	598	587
シミュレーション2	730	721	720	717	711	698	685	671	658	644	632

【出典】

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成

【注記】

パターン1：全国の移動率について、足元の傾向が続くと仮定した推計（社人研推計準拠）。

シミュレーション1：仮に、合計特殊出生率が人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準の2.1）まで上昇したとした場合のシミュレーション。

シミュレーション2：仮に、合計特殊出生率が人口置換水準（2.1）まで上昇し、かつ人口移動が均衡したとした（転入・転出が同数となり、移動がゼロとなった）場合のシミュレーション。

第2期総合戦略の計画期間

第2期総合戦略の期間は、第1期総合戦略の計画期間が2019年までであること、また、国が策定する第2期総合戦略を考慮して、2021（令和3）年度から2025（令和7）年度までの5年間とします。

基本目標と基本方向

第1期総合戦略では4つの基本目標に対して、17の基本方向を位置付けていました。第2期総合戦略では、時代の流れや村民・事業者のニーズに応じ見直しを行います。

具体的には、第1期における基本目標は継続しながら、国の基本目標に向けた取組に関する新たな視点や県の重要施策などを踏まえ整理した結果、第2期総合戦略では15の基本方向への再編を行うこととします。

基本目標	基本方向
＜基本目標1＞ 碧島の風景と自然環境に 調和したしごとをつく り、雇用を創出する	○観光地域づくりを担う組織の育成・強化による受け入れ態勢づくり ○渡嘉敷村ブランドの構築による農漁業・特産品の高付加価値化 ○新型コロナウイルスの影響による働き方の変化に対応した環境づくり
＜基本目標2＞ 住んでみてチャレンジで きる碧島づくり	○大都市向けのU・Iターンの情報発信 ○年間を通じて安定した雇用の確保 ○村内における新たな起業支援 ○関係人口の増加による活力の創出 ○ふるさと納税・企業版ふるさと納税制度への取り組み強化による関係人口の増加
＜基本目標3＞ 若者が定住し、結婚・出 産・子育ての希望をかな えることができる碧島	○本村で子供を生み育てたいと考えられる環境づくり ○定住促進住宅の建設や、空き家・空き地を利用した住居の確保・推進
＜基本目標4＞ 暮らしの安心を守り、や さしい碧島のしくみをつ くる	○自然との共生による碧島のブランド化の推進とプロモーション ○高齢者が安心して暮らせる環境づくり ○幼・小・中一貫教育による質の高い教育環境づくりと機会の創出 ○医療・福祉分野での未来技術の活用 ○村内外への情報発信力の強化

基本目標 1		
碧島の風景と自然環境に調和したしごとをつくり、雇用を創出する		
数値目標	基準値	目標値
特産品の開発	0	2品（5年間で）
with コロナを見据えた新たな渡嘉敷村の観光振興の方向性の検討	—	方針決定
基本方向		
●観光地域づくりを担う組織の育成・強化による受け入れ態勢づくり 渡嘉敷島周辺の海域は、ラムサール条約に指定されています。また、渡嘉敷島の海岸線の大部分と、前島及び周辺無人島は慶良間諸島国立公園に指定され、世界的にも貴重な自然とその保護が図られています。 そのような豊かな自然環境を活用し、碧島の重要な産業である観光産業の持続的な発展を図るために、観光地域づくりを担う組織の育成・強化を図ります。		
●渡嘉敷村ブランドの構築による農漁業・特産品の高付加価値化 自給的農家が主体の本村の農業については、環境に配慮した農業振興を図りつつ、地域特性に応じた付加価値の高い特産品の生産を推進し、渡嘉敷ブランドの構築を行い、観光産業との連携により観光消費が地域の中で循環する仕組みづくりに取り組みます。 水産業については、加工品等特産品の開発と流通ルートの開拓を行い、水産物のブランド化を行います。		
●新型コロナウイルスの影響による働き方の変化に対応した環境づくり 新型コロナウイルスによる働き方の変化に対応したワーケーションの環境を提供するなど、新たなニーズに対応したしごとと生活の場を創出します。		

基本目標 2		
関係人口による活力づくりと、住んでみてチャレンジできる碧島づくり		
数値目標	基準値	目標値
社会移動	-11（2019年）	±0（均衡）
住民や関係人口を巻き込んだ村づくりを考える場の創出（仮称 渡嘉敷村戦略会議）	—	定期開催
ふるさと納税・企業版ふるさと納税の取り組みによる関係人口の増加	ふるさと納税 59件 （2019年） 企業版ふるさと納税 0件	ふるさと納税 60件 企業版ふるさと納税 5件
基本方向		
●大都市向けのU・Iターンの情報発信 渡嘉敷村では、観光産業を中心に若年層の移住が見られます。地域社会を維持し定住人口の増加を図るためにも、積極的に若者の定住を促進します。そのためには都市部で行われる移住フェア等への参加など積極的な情報発信を行い、田舎暮らしのニーズの取り込みを図ります。		
●年間を通じて安定した雇用の確保 夏場の観光産業だけではない通年型の安定した雇用の創出、新たな起業支援を行い、渡嘉敷村で仕事にチャレンジできる環境を創出します。		
●村内における新たな起業支援 創業・起業に係る手続き、創業時に使える公的融資制度など創業・起業時の相談、セミナー情報の提供等を行うことによって、創業・起業を志す村民を支援します。		
●関係人口の増加による活力の創出 地域おこし協力隊を活用し、特産品商品開発、観光促進、ICTや未来技術を活用した情報発信等の地域おこしを実施することで、関係人口・交流人口の増加と地域活性化を推進します。		

●ふるさと納税・企業版ふるさと納税制度への取り組み強化による関係人口の増加

ふるさと納税制度に積極的に取り組むことで、村外にお住まいの方との関係を深め、村づくりを応援する関係人口の増加を図ります。

また、産・官・学・金の連携による取り組みについて、企業版ふるさと納税を活用し、村づくりを応援する関係人口の増加を図ります。

基本目標 3

若者が定住し、結婚・出産・子育ての希望をかなえることができる碧島

数値目標	基準値	目標値
空き家・空き地の利用に向けた機運の醸成、組織の育成	—	1 団体
空き家・空き地を活用した定住促進	0	2 件（5 年間で）
新規宅地の供給	—	可能性調査により設定

基本方向

●本村で子供を生み育てたいと考えられる環境づくり

若い世代の経済的安定を確保し、結婚・出産希望者の夢を叶えるべく、村外の医療機関において出産する妊婦に対して交通費や宿泊費の助成による経済的負担の軽減を図るなど、出産・妊娠の包括的支援、子育ての希望をかなえるきめ細やかな子育て支援、質の高い教育環境づくり、児童の居場所づくりといった切れ目のない支援を行い、現役世代をしっかりと応援することで、生活に夢と希望を持てる環境を創出します。

育児を行っている母親や父親が集まって、情報交換や相談、知識を習得する場を設け、また、専門家から指導・助言を受けられる育児交流会を実施することによって、島が一体となった子育て環境を整備し、育児の負担や不安の軽減を図ります。

●定住促進住宅の建設や、空き家・空き地を利用した住居の確保・推進

村の人口減少に歯止めをかけ、人口を維持・増加させるためには、定住条件の整備や雇用の場となる観光産業振興を図るとともに、移住希望者やUターン希望者を持続的に受け入れるための取組が必要になります。

「仕事はあるけど空き家がない」「帰ってきたくても住む場所がない」という意見が多く、村でも空き家の改修による移住者の受入事業を行っておりますが、村による利用可能な空き家は少ない状況です。

空き家の活用には、所有者の同意が必要であり大きなハードルとなりますが、居住空間が限られた渡嘉敷村では、空き家の活用が島の活性化には必要不可欠です。

そのことをご理解いただくため、所有者の意向醸成や、不安材料の解消策を検討するために、空き家の活用・運営を行う団体の育成や空き家利活用ワークショップの開催など、空き家を活用した定住促進策を図ります。空き地についても定住化に向けた活用策を検討します。

基本目標 4

暮らしの安心を守り、やさしい碧島の仕組みをつくる

数値目標	基準値	目標値
地域活動への参加	76.6%	90.0%
未来技術を活用した遠隔医療環境の実現	—	実施

基本方向

●自然との共生による碧島のブランド化の推進とプロモーション

渡嘉敷村にしかない恵まれた自然環境を守り育てることを戦略の要とし、環境重視の特色ある村づくりを行い、自然との共生による碧島のブランド化の推進とプロモーションを行います。

また、慶良間諸島として地域が連携し、一体となった観光地づくりを行い、戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーションを行い、地域の魅力を高めることで観光を振興します。

●高齢者が安心して暮らせる環境づくり

今後、高齢化が緩やかに進む本村において、加齢による健康面の不安や、独居や夫婦2人だけの世帯では日常生活が困難になり、都市に居住する子ども達との生活や高度な医療サービスを受けるために村を離れることもあると考えられます。

医療レベルなど簡単に解消できない課題もありますが、村で生活を送る上で不安・不便と感じる要素を少しでも取り除くとともに、健康寿命を延伸していく取り組みを実施し、1年でも長く渡嘉敷村で元気に生活できる環境や体制づくりが必要です。

●幼・小・中一貫教育による質の高い教育環境づくりと機会の創出

Society5.0時代を生きる子供たちに、国のGIGAスクール構想の整備によるデジタル化を実現することで、地域間の教育の格差を是正し、情報通信技術の活用を積極的に行います。

●医療・福祉分野での未来技術の活用

医療環境が脆弱な本村では、高度な医療機関の立地は難しい状況です。そこで、県と連携を図り未来技術を活用したオンライン診療や遠隔医療の実施に向けた取り組みを行います。

●村内外への情報発信力の強化

村内外への情報発信を強化し、住民へのサービス向上と村外への渡嘉敷村の魅力の発信を行います。

持続可能な開発目標（SDGs）とは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）は、2015 年 9 月の国連で採択されたもので、国連加盟 193 カ国が 2016 年から 2030 年までの 15 年間で達成するために掲げた目標であり、環境、経済、社会それぞれの側面を統合的に向上させるため、17 の目標と 169 のターゲットから構成されています。この目標の達成に向け、政府だけでなく、自治体や企業、諸団体、村民にも役割があり、それぞれが協力・連携しあうことが求められています。



- 目標1 (貧困をなくそう)：あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
- 目標2 (飢餓をゼロに)：飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
- 目標3 (すべての人に健康と福祉を)：あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
- 目標4 (質の高い教育をみんなに)：全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
- 目標5 (ジェンダー平等を実現しよう)：ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女児の能力強化を行う
- 目標6 (安全な水とトイレを世界中に)：全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
- 目標7 (エネルギーをみんなにそしてクリーンに)：全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
- 目標8 (働きがいも経済成長も)：包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する
- 目標9 (産業と技術革新の基盤をつくろう)：強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
- 目標10 (人や国の不平等をなくそう)：各国内及び各国間の不平等を是正する
- 目標11 (住み続けられるまちづくりを)：包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する
- 目標12 (つくる責任つかう責任)：持続可能な生産消費形態を確保する
- 目標13 (気候変動に具体的な対策を)：気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
- 目標14 (海の豊かさを守ろう)：持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
- 目標15 (陸の豊かさを守ろう)：陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の促進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
- 目標16 (平和と公正をすべての人に)：持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
- 目標17 (パートナーシップで目標を達成しよう)：持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化

第 2 期総合戦略と関連のある SDGs の目標

総合戦略では、個々の施策が世界レベルの目標達成に繋がっていることを認識するため、SDGs の理念を基本目標や基本方向に位置付けるとともに、SDGs の 17 の目標と関連性のある具体的な施策を紐付けています。

また、SDGsの理念を施策に反映させるためには、SDGsに対する村民の理解を深め、村内事業所の経済活動において17の目標達成に資する取組を促進することが必要であることから、広報活動等を行いSDGsに対する意識醸成と理解促進を図ります。

施策分野	関連する SDGs
観光地域づくりを担う組織の育成・強化による受け入れ態勢づくり	8 働きがいも経済成長も 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナリシップで目標を達成しよう
渡嘉敷村ブランドの構築による農漁業・特産品の高付加価値化	8 働きがいも経済成長も 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう 17 パートナリシップで目標を達成しよう
新型コロナウイルスの影響による働き方の変化に対応した環境づくり	3 すべての人に健康と福祉を 8 働きがいも経済成長も
大都市向けのU・Iターンの情報発信	11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナリシップで目標を達成しよう
年間を通じて安定した雇用の確保	8 働きがいも経済成長も 11 住み続けられるまちづくりを
村内における新たな起業支援	8 働きがいも経済成長も 17 パートナリシップで目標を達成しよう
関係人口の増加による活力の創出	8 働きがいも経済成長も 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナリシップで目標を達成しよう
ふるさと納税・企業版ふるさと納税制度への取り組み強化による関係人口の増加	17 パートナリシップで目標を達成しよう
本村で子供を生み育てたいと考えられる環境づくり	1 貧困をなくそう 3 すべての人に健康と福祉を 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを
子育て世帯や若者向け等多様な住宅の確保	1 貧困をなくそう 3 すべての人に健康と福祉を 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを
定住促進住宅の建設や、空き家・空き地を利用した住居の確保・推進	10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを
自然との共生による碧島のブランド化の推進とプロモーション	8 働きがいも経済成長も 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう
高齢者が安心して暮らせる環境づくり	3 すべての人に健康と福祉を
幼・小・中一貫教育による質の高い教育環境づくりと機会の創出	1 貧困をなくそう 4 質の高い教育をみんなに 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナリシップで目標を達成しよう
医療・福祉分野での未来技術の活用	3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナリシップで目標を達成しよう
村内外への情報発信力の強化	11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナリシップで目標を達成しよう

第2期渡嘉敷村人口ビジョン総合戦略（概要版）

発行：2021年3月

発行者：渡嘉敷村

〒901-3592 沖縄県渡嘉敷村字渡嘉敷 183 番地

電話 098-987-2321 Fax 098-987-2560